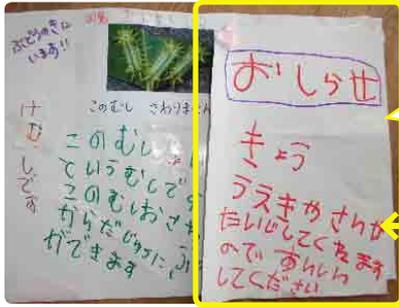


伝えることで理解を深める ～情報の共有～

本事例集で紹介している園は、子どもの表現や情報の共有を大切にしています。子どもは、「大きく心を動かされて、思わず表現したくなる」という動機づけで表現するだけでなく、「伝えたい!」「情報を共有したい!」という目的をもち、自分たちの活動を振り返って、表現を楽しんでいます。伝えたいことの価値づけができる子どもは自己有能感をもって、同じ思いで活動する仲間と思いや考えを表現し合い、自信をもって活動します。そして、目的に向かってやり遂げる体験から、「科学する心」が育まれます。子どもが、見せたいと思う人にとって、魅力的な情報にしたいとの思いをもち、「知らせたい」ことを「ニュース」や「新聞」と称して創作し発信した事例を紹介します。子どもが、伝えたい情報や、相手に伝わるように工夫している表現からも、「科学する心」が育まれている体験を読み取ることができます。

子どもが作る「幼稚園ニュース」

ニュースを書くために、知りたいことを今まで以上に探究する姿や、文字などで伝えるために創意工夫する姿が見られるようになった。



「毛虫がいたよ」という知らせを書いた。その後、怖がる子どもや心配な子どもがいるのではないかとその意見があり、安心させようと、右の「おしらせ」を追加した。

セミの抜け殻とセミの出てきた穴を見つけた子ども。「『何の穴かな?』ってクイズにしたら面白くない?」というユニークなアイデアが出てきた。

氷ができていたことを幼稚園ニュースで伝えたかった時、「この前、折り紙で遊んだ時の形が氷みたいじゃない!？」と、気づいた子どもがいた。雪の結晶と氷が結びついたのだろう。子どもたちの経験と知識が結びついて生まれたニュースであった。



（「幼稚園ニュース」は、2月までに31回発行）
参考事例：常磐会短期大学付属常磐会幼稚園（P.26）

子どもが作る 葉っぱ新聞

いろいろな葉に興味をもった子どもたち一人一人が、気づいたことを手がかりに工夫して「葉っぱ新聞」を作った。

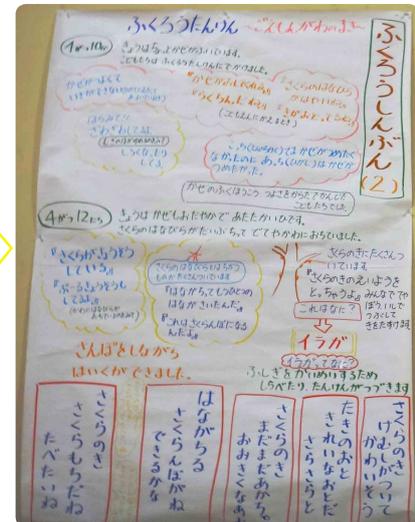
〔Nさんの新聞〕 サクラの葉・ソラマメの葉・ドングリの葉 葉っぱを見ながら描いている。自分が描いた葉と本物の葉をつなげるクイズを書き、「僕は葉っぱのクイズ新聞」と言いながら作り上げる。壁に貼る時、「僕の新聞が一番下に貼って…みんながクイズをするから」と話す。



保育者が作る ふくろう新聞

子どもたちのつぶやきや、感動した様子などは、すぐに「ふくろう新聞」に書き込むようにした。特に、子どもたちの気づきや発見などは大切に扱い、新聞にしている。この情報により、子どもたちは、「自分の発見や考えついたこと」に自信をもち、自分たちも新聞にしたいとの思いにつながった。子どもの思いに添い、興味が深まる姿を取り上げ、クラスの友達や保護者と共有できる新聞にすることで、記事になった遊びへの意欲が高まり、子どもたちが夢中になる姿につながった。

「ふくろう新聞」を保護者と楽しんでいた子どもたちは、「先生が作る新聞」への魅力から、「自分で作りたい」との願いをもつようになっていったことが分かる。様々な葉っぱに触れて感動し、不思議に思い、これらを「新聞作り」という遊びに生かして工夫して作る体験や、新聞作りによって友達の考えや発見に気づく体験は、「科学する心」の育ちにつながっている。

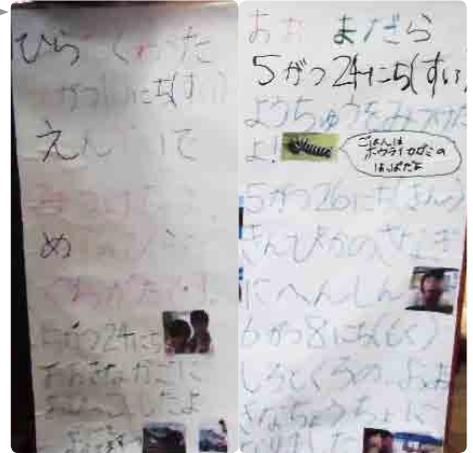


参考事例：北陵幼稚園・北陵保育園（P.29）

子どもが作る「虫新聞」

「カバマダラとオオゴマダラの羽化を見て、感動！」「今まで見てきたことをお父さんやお母さんに教えた
い！」と考え、子どもたちは「虫新聞」にまとめた。

記事を考えて新聞にすることで、今までの活動を思い起こし、感動したことや、分かったことを共有する楽しさを味わっていた。



保育者が作る 子どもの発見をカレンダーに

保育者がカレンダーにしたことで、子どもたちは、自分たちの活動を振り返ったり、観察している生き物の変化などをたどって確認したり、成長を期待する姿につながった。



サナギを見つけた日を記録し、羽化を予想した

参考事例: いのだ幼稚園 (P.6)

子どもが作る「ごじらたねまきしんぶん」

“ゴジラの種”の袋にある説明書をもとにして、子どもたちは種をまく準備を進めた。「日陰なら気温は低いと思う」「うねの高さって、どこから測るのかな？」と、知らないことに向き合い、自分なりの知識や経験をもとにして考えたり、家族や図鑑などから情報を得たりしていた。

遊びの中で友達と考え合うだけでなく、次第にみんなが集まる会などで、自分が知ったことを友達と伝え合い、話し合うようになっていった。

分かったことを伝えたいとの思いがあり、種まきの時期が9月と分かった数名の子どもが、「それまで覚えていられるように、分かったことを新聞にしよう」と、自分たちで新聞を作った。



参考事例: 山梨大学教育学部附属幼稚園 (P.34)

参考資料: 保護者向けの掲示物・配布物

毎日の活動や、子どもの素敵なエピソードを掲示板に掲載したり(ボードフォリオ①)、クラスで興味がある活動を写真で紹介して(ドキュメンテーション②)、ファイルに綴じて玄関に置き、いつでも見られるようにしたりしている。また、一人一人の成長した姿を、エピソードと写真で発行(ポートフォリオ③)したり、幼児クラスは興味を追った図(ウェブ図④)にしたりして配布している。

これらの展示物を見た保護者からは、素材や教材、情報などの提供がある。



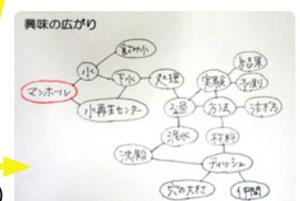
ボードフォリオ①
(今日のエピソード)



ドキュメンテーション②
(クラスのエピソード)



ポートフォリオ③
(一人一人の姿)



ウェブ図④
(幼児は4か月毎に)

参考事例: 陽だまりの丘保育園 (P.14)